

初回の身元通知のテンプレート

日付:	生徒の氏名:
学区:	学校と学年:

(生徒の氏名を記入)の保護者の方へ、

お子様は英語学習者として認識されています。英語学習者とは、(1) 家庭内での使用言語が英語以外であり、(2) 学校での授業に効率的に参加するために英語の指導と支援が必要な、生徒を示します。本校は、お子様のリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングにおける英語能力を把握するために、言語調査と Ohio's English Language Proficiency Screener (OELPS) を使用しました。お子様の結果はこちらです:

学校が記入または添付した OELPS INDIVIDUAL STUDENT REPORT (ISR)

英語学習者として、お子様は英語指導教育プログラムを通じた支援の適用対象となります。このプログラムは、お子様の英語の発達を支援し、学校の授業や活動への充実した参加が確実に達成できるよう支援します。この書簡は、お子様の英語レベルと、学校に本格的に参加することを支援できるプログラムについて、ご説明するものです。

プログラムの目的は、複数言語を使用する生徒の英語でのリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの能力を支援することです。以下の学区プログラムは、お子様の学力向上に必要な言語発達を補助するためにご利用できます:

学校が必要に応じて、プログラムのリストを変更または下記を打診する

1. 英語のみを使用する補足的な指導プログラム
2. バイリンガルの補足的な指導プログラム
3. 二カ国語プログラム
4. 第二言語としての統合的英語のサポートを伴う内容中心の授業
5. 新入生プログラム
6. シェルター式指導プログラム
7. 構造化または双方向のイマージョン・プログラム
8. 相談、測定、学力補助
9. その他:

それぞれのプログラムについては、この書簡の最後にある用語集の中で説明しています。

このプログラムでは、英語のスキルの発達に加え、お子様の年齢に適した、学年の進級と卒業のための学力達成水準に到達するよう支援します。

生徒は、英語能力の総合的な水準に達するまで、英語学習者として認識されることとなります。これは、Ohio English Language Proficiency Assessment (OELPA) が毎年春に実施する州指定のテストによって判断されます。英語学習者は、テストの 4 項目 (リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング) において、4 または 5 段階となることで、総合能力のレベルを示すこととなります。

ほとんど生徒は、INSERT PROGRAM RATE 年間に英語に堪能になり、本校のプログラムを修了します。プログラム修了時には、学習支援がさらに必要かどうかを判断するために、お子様の習得度が 2 年間モニタリングされます。

INSERT SCHOOL YEAR における、NAME OF SCHOOL では、英語発達プログラムに参加した INSERT ADJUSTED 4-YEAR GRADUATION RATE パーセントの高校生が 4 年以内に卒業し、これらの生徒の INSERT ADJUSTED 5-YEAR GRADUATION RATE パーセントは、追加された 1 年の間に卒業しました。

お子様が英語発達プログラムに参加することを強く推奨します。プログラムの利点については、より詳しくご説明いたします。

お子様の英語発達と学力水準について話し合うために、ご連絡またはご来校いただければと存じます。

連絡先氏名を記入

連絡先電話番号を記入

連絡先メールアドレスを記入

本校は、英語学習者であるすべての生徒に奉仕する義務がありますが、保護者の方には、英語学習者プログラムまたはプログラム内の特定のサービスへのお子様の参加を拒否する、またはお子様を除外する権利があります。お子様を本校の英語学習者プログラムまたは特定のサービスから除外する場合、お子様は英語学習者としてのステータスを維持することとなります。本校は、EL 生徒に該当する教育プログラムを提供するために、1964 年制定の公民権法第六編により求められる積極的措置、および 1974 年制定の教育機会均等法により求められる適切な措置を講じることを義務付けられています (20 U.S.C. sections 1703[f], 6312[e][3][A][viii])。

- この情報を理解し、子どもが英語学習サービスを受けることに同意します。
- この情報を理解し、上記のプログラムへの子どもの参加の拒否について学区の委員と話し合うことを希望します。
- 上記の言語を理解しないので、追加的な言語支援およびこの情報についての説明に言語支援が必要です。

(保護者の氏名)

(保護者の署名)

日付(月/日/年)

継続的な英語学習者身元確認通知のテンプレート

_____ (生徒の氏名を記入)の保護者の方へ、

日付:	生徒の氏名:
学区:	学校と学年:

本校は、毎年、お子様の学力を測定し、お子様の英語能力のレベルをご本人にお知らせするよう義務付けられています。Ohio English Language Proficiency Assessmentの結果に基づき、お子様は引き続き英語学習者として認識されます。お子様の結果はこちらです:

OELPAの生徒個人の報告を記入または添付

英語学習者として、お子様は英語指導教育プログラムを通じたサポートの適用対象となります。このプログラムは、お子様の英語の発達を支援し、学校の授業や活動への意義ある参加を確実に達成するよう支援します。この書簡は、お子様の英語レベルと、学校に本格的に参加することを支援できるプログラムについて、ご説明するものです。

プログラムの目的は、複数言語を使用する生徒の英語でのリスニング、スピーキング、リーディング、ライティングの能力を支援することです。以下の学区プログラムは、お子様の学力向上に必要な言語発達を補助するためにご利用できます:

必要に応じてリストを修正または下記を打診する

- 英語のみを使用する補足的な指導プログラム
- バイリンガルの補足的な指導プログラム
- 二カ国語プログラム
- 第二言語としての統合的英語の支援を伴う内容中心の授業
- 新入生プログラム
- シェルター式指導プログラム
- 構造化または双方向イマージョン・プログラム
- 相談、測定、学力補助
- その他:

それぞれのプログラムについては、この書簡の最後にある用語集の中で説明しています。

プログラムでは、**英語のスキルの発達に加え**、お子様の年齢に適した、学年の進級と卒業のための学力達成水準に到達するための支援をいたします。

全体的に十分なレベルに達するまで、生徒は英語学習者として引き続き認識されます。これは、Ohio English Language Proficiency Assessment (OELPA) が毎年春に実施する州指定のテストによって判断されます。英語学習者は、テストの 4 つの部分(リスニング、スピーキング、リーディング、ライティング)において、4または 5 段階となることで、総合能力のレベルを示すこととなります。

ほとんどの生徒は、プログラムのレートを記入 年の間に英語に堪能になり、本校のプログラムを完了します。プログラム完了時には、追加的な学習支援が必要かどうか判断するために、お子様の習得度が 2 年間モニタリングされます。

INSERT SCHOOL YEAR における、NAME OF SCHOOL では、英語発達プログラムに参加した INSERT ADJUSTED 4-YEAR GRADUATION RATE パーセントの高校生が 4 年以内に卒業し、これらの生徒の INSERT ADJUSTED 5-YEAR GRADUATION RATE パーセントは、追加された 1 年の間に卒業しました。

お子様が英語発達プログラムに参加することを強く推奨します。プログラムの利点について、より詳しくご説明いたします。

お子様の英語発達と学力水準について話し合うために、ご連絡またはご来校いただければと存じます。

連絡先氏名を記入

連絡先電話番号を記入

連絡先メールアドレスを記入

本校は、英語学習者であるすべての生徒に奉仕する義務がありますが、保護者の方には、英語学習者プログラムまたはプログラム内の特定のサービスへのお子様の参加を拒否するか、またはお子様を除外する権利があります。お子様を本校の英語学習者プログラムまたは特定のサービスから除外する場合、お子様は英語学習者としてのステータスを維持することとなります。本校は、EL 生徒に該当する教育プログラムを提供するために、1964 年制定の公民権法第六編により求められる積極的措置、および 1974 年制定の教育機会均等法により求められる適切な措置を講じることを義務付けられています (20 U.S.C. sections 1703[f], 6312[e][3][A][viii])。

- この情報を理解し、こどもが英語学習サービスを受けることに同意します。
- この情報を理解し、上記のプログラムへの子どもの参加の辞退について学区の委員と話し合うことを希望します。
- 上記の言語を理解せず、追加的な言語支援とこの情報についての説明をお願いします。

(保護者の氏名)

(保護者の署名)

日付(月/日/年)

言語発達の説明 プログラム

英語のみの補足的な指導: 英語学習者である生徒の特別な語学的ニーズに合うよう設計されたプログラムでは、日中は指導の中に生徒の母国語を全く組み込んでいません。このプログラムでの指導提供方法の選択肢の例には、第二言語としての英語(ESL)のクラス、引き抜きでの個人授業、シェルター式内容中心の授業(英語学習者である生徒の英語能力に合わせた数学の授業など)、普通クラスでESLのスペシャリストから受けるサポート(一体化)があります。(235023)

構造的英語またはESLプログラム: このプログラムの目標は、英語学習者が、英語のみが使われる普通クラスに合流できるように、英語のスキルを獲得することにあります。教師たちは、バイリンガル教育またはESL教育の資格のどちらか、または英語学習者の第一言語を理解する高い能力を有しており、英語学習者のニーズに合った特別なトレーニングを受けています。英語は指導言語です。(235023)

ESLの支援と融合した内容中心の授業: これらの言語支援は、Sheltered Instruction Observation Protocol (SIOP)、specially designed academic instruction in English (SDAIE)、または単純にシェルター式指導と呼ばれています。英語学習者の教師たちは全員、指導教材を活用しつつ、言語、内容、認識能力や学習スキルを発達させるための手段として、学術研究内容の範囲から課題や授業手法を学びながら、それらを取り入れています。指導言語は英語です。(235019)

シェルター式英語指導: 英語での学習内容の指導を、英語学習者である生徒に理解させるために使用される指導方法です。シェルター式授業では、教師たちが、数学、理科、社会科やその他の科目で、概念開発に必要な語彙を教えるために、身体的な活動、視覚教材や環境を使用します。(235019)

バイリンガルでの補足的な指導: 英語学習者である生徒の特別な言語的ニーズに合うよう設計されたプログラムでは、指導の一部は生徒の母国語を通して行われます。このプログラムでの指導提供方法の選択肢の例には、バイリンガル教育の推奨や検証(英語とスペイン語両方で行われる数学の授業など)を行っている教師によるバイリンガル教育の授業、またはバイリンガル指導のアシスタントによる生徒の母国語での内容の説明があります。このプログラムでは、生徒は日中、部分的に英語のみの授業(ESLの授業など)に参加することがあります。(235025)

二カ国語プログラム: 双方向イマージョンとしても知られるこのプログラムでは、英語学習者と非英語学習者が英語と非英語言語で授業を受けます。二カ国語プログラムでは、高い学力水準、第一/第二言語の能力向上、異文化間理解を目標とし、英語のネイティブ・スピーカーと他言語のネイティブ・スピーカーの両者が統合言語と学習指導を行います。(235017)

新入生: 新入生プログラムは、来米したばかりの生徒の学習面での過渡期のニーズに合うよう設計された、独立した比較的自立型のシステムです。一般的に、生徒たちは、より伝統的なプログラム(例えば、英語発達プログラムまたは融合型ESLサポート付の普通クラス)に参加する前に、これらのプログラムに出席します。(235021)

その他のプログラム

その他の英語学習者のプログラムは、それ以外の利用可能な英語学習者のプログラムコードには含まれていません。相談、測定、学力補助：相互合意の上、一英語話者として、一個人として、一言語学習者として、英語学習者をより適切に支援するため、教師たちとスペシャリストたちの間で情報とリソースを得るためのやり取りが指定されています。英語能力の基準は、カリキュラム全般に対応しています。EL プログラムの必須要綱。(235099)

参照

[アメリカ合衆国教育省 Language Instruction Educational Programs \(LIEP\) : 基礎文献のレビュー](#)

[リスト化されたコードは ODE EMIS Manual 2.9 を参照](#)

英語プログラムの拒否通知のテンプレート

日付:	生徒の氏名:
学校:	学区と学年:

(生徒の氏名を記入)の保護者の方へ、

お子様への言語指導教育プログラムのご提案に拒否をご希望されることは理解いたします。英語学習プログラムは、お子様の英語能力の向上と同時に、学年水準の授業への参加を支援するために、特別に設計されています。しかしながら、面談中でお伝えした通り、保護者の方にはお子さまのプログラムへの参加を拒否される権利がございます。

英語プログラムへの参加を拒否される場合は、下記の項目をお読みいただき、チェックしてください。文章の最後にイニシャルをご記入ください。それにより、保護者の方の各項目への完全なるご理解と合意をいただけたものと見なします。各文章にチェックとイニシャルをご記入後、サインと日付をご記入の上、お子様の学校へお戻しください。現時点で、お子様の英語プログラムへの参加を拒否または希望されないことを記したこちらの文書は、こちらで保存いたします。

- 子どもの英語力測定の点数と子どもの現在の学力の進行状況について認識している。追加的な英語の指導が推奨されていることを理解している。
- 学校が子どもに提供できる英語プログラムについてよく知っている。
- 学校の職員と利用可能な言語指導教育プログラムについて話し合う機会があった。
- 学校が子どもに学習上の利点が最もあると思われる推奨をしていることを理解している。
- 連邦政府の要件に従い、子どもが指定された「英語学習者」であり、子どもが州指定のテストにおいて正当な英語学習者であることに該当し、子どもが州の定める英語学習者の定義に該当しなくなるまで英語能力の測定を年に1回受けることを理解する。

この記述されたサービスへの拒否をいかなる時にも撤回し、子どもに言語指導教育プログラムを即刻受けさせることを求める権利があることを理解する。

この情報は、自分が十分に理解する言語で提示された。

保護者の氏名

保護者の署名

日付